

# 図書館の PR 実践

(大切なこと 運営方針を持っている。それを理解していること。)

1 強調すべきことは、2つ程度に。

2 専門用語はできるだけ避ける。

例：ILL 相互貸借

第2線図書館 市町村図書館の支援

AV 資料 視聴覚資料

3 人の真似ではなく、自分の普段のスタイルを大切に。

4 あくまでも、パフォーマンスであること。

(笑顔を忘れない、できるだけ立って行う。)

5 質問こそ、理解への王道。質問への感謝を。

領域：図書館経営 図書館の PR 実践

わが図書館を PR する - 模擬プレゼンテーション

(本日の研修の流れ)

1. 講義の流れの説明(15分)
2. 模擬プレゼンテーション グループ単位(55分)
3. 休憩(10分)
4. 模擬プレゼンテーション 総括集会・質問タイム(40分)
5. 講師講評・まとめ(30分)

(模擬プレゼンテーション)

状況設定

平成 16 年 9 月 日教育担当の 委員会の議員の方々が、超党派で生涯学習と図書館をテーマに自治体内のいくつかの施設を巡回し、その中のひとつとしてあなたの図書館を視察することになりました。当日館長は、海外使節団の対応に追われ、時間までに帰館できるかどうかわからないため、代理としてあなたが 7 名の議員に対し、図書館のレクチャーをすることとなりました。議会事務局からは、予め以下の諸点について、5 分ぐらい説明をうけた後館内を見学したいというコメントが寄せられています。あなたは、この議員団のために、しかるべき資料を用意し 5 分間のレクチャーをしなくてはなりません。またこの機会に、図書館のサービスの必要性・重要性を、できるだけ売り込みたいと思っています。グループの全員が視察議員団となって話の聞き役となります。あなたのプレゼンテーションを、はじめてください。

議会事務局からのコメント

- 1) 図書館のサービスの特色と職員体制
- 2) 生涯学習推進計画の中で果たしている役割
- 3) 「子ども読書推進計画」の進捗状況と図書館のめざす読書活動
- 4) 住民意識調査や利用者調査で市民からはどのような評価が行われているか。

進行手順

- 1) グループごとに進行役を決めてください。
  - 2) 全員がグループの仲間(議員とってください)に対し、用意した説明(上記コメント 4 点)を行ってください。制限時間は、**5分**です。
  - 3) 全員の説明が終了した段階で、各人が一つずつ別の館の方に質問をしてください。質問は、同一の図書館に集中してはいけません。必ず一人が異なった館の職員に対し、一つ質問をしてください。質問の内容は重複してもかまいませんが、重複は 1 回までとします。質問は簡潔に、回答は**2分以内**でお願いします。
  - 4) 質問と回答が終わった段階で、投票を行いグループの代表としてふさわしいと思われる館を選ぶ投票を行い、高得点館が総括集会に出場します。
- (休憩後総括集会)
- 5) 総括集会の進行は最も代表選出が遅れたグループに担当していただきます。グループの中から進行役を選んでください。
  - 6) 2)と同様に研修生全員に対し、プレゼンテーションを行います。4グループの代表が登壇し、順番に説明をしてください。今回の制限時間は**7分**です。
  - 7) 4人の代表の、説明が終了した段階で質問を受付けます。質問は議員としての自覚を持って、行ってください。一人一回だけ4館に対して行えます。ただし、同一のグループ同士の質問はできません。